

ただいま発掘中！

巢鴨遺跡

巢鴨町家跡の発掘調査

2016 年 5 月 24 日

現在多くの人々が訪れる巢鴨地蔵通りは、江戸時代の主要な街道の一つである**中山道**の一部にあたります。豊島区では、この巢鴨地域周辺を「**巢鴨遺跡**」として指定しており、1991 年以降、現在まで **100** を超える地点で発掘調査を行っています。その結果、この巢鴨の地には、**旧石器時代から近代（明治・大正・昭和）**までの遺跡が発見され、特に**江戸時代の生活の痕跡**がよく残されています。

江戸時代の巢鴨は、**江戸六地蔵尊**の一つがある**真性寺**付近を中心として、**中山道**（現在の地蔵通り～国道 17 号）に沿って**武家屋敷**と**巢鴨町**が展開していました。

巢鴨町は、4 つに組分けされ、現在発掘しているこの場所は、巢鴨町**上中組**の境付近にあたるものと考えられます。これまでに行なわれた周辺の発掘調査では、江戸時代の地下室や建物跡、中山道に沿って築かれた溝などが発見されています。また胞衣埋納遺構（子供の成長を祈って、胎盤を土器のお皿に納めて地中に埋める習俗）や、地鎮のために盛土の中に埋められた親鸞の像なども発見されています。今回の発掘調査では、現在のところ、建物の基礎と考えられる遺構や、江戸時代を中心とした遺物が発見されています。

発掘調査地：豊島区巢鴨 4-21-10〔住居表示〕

豊島区教育委員会

 特定非営利活動法人
としま遺跡調査会

